

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
医事コンピュータ III Computer Medical III		2年	集中	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
医学一般の科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医事コンピュータ I・II 医療秘書				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
古川 貴子	講義棟 2 F	木・金・土 (授業・会議 時間以外)		授業中に指示します
授業の概要				
我が国の IT 化に伴い、全国の病院も電子カルテシステムの導入が必須になっている。それに対応できる即戦力としての人材育成が求められる中、従来の医療事務知識プラス現場状況を踏まえた電子カルテ演習を中心に学習を図る。				
授業の到達目標				
①診療録・電子カルテ・ICD-10分類・DPCは病院業務の中でどのように繋がっているか理解できるようにする。 ②演習を通じ、事例問題の解決ができるようにする。③電子カルテ検定試験に合格できるようにする。				
授業の方法				
毎回資料を配布し、演習問題を中心に実践方式で授業を進める。				
学習の成果				
①診療録がいかに重要であるかを理解することができる。 ②電子カルテ・DPC 請求についての基礎知識を習得することができる。 ③電子カルテ検定の受験資格を得ることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・電子カルテの概要			
第2回目	電子カルテシステムとは 演習問題 (①システムの全体像 ②診療所・外来)			
第3回目	IT 化の流れと診療録の電子化への道 (国策による法的要件とその後の法的動き 演習問題 (②診療所・外来)			
第4回目	電子カルテの定義および機能 (メリット・型) 演習問題 (②診療所・外来)			
第5回目	電子カルテシステム関連知識 (部門システム・オーダーリングシステム) 演習問題 (③病院・外来)			
第6回目	電子カルテシステム関連知識 (基本的機能・記載方法・入力支援ツール) 演習問題 (③病院・外来)			

第7回目	電子カルテシステム関連知識 (クリニカルパス・レポート・セキュリティー) 演習問題 (④病院・入院)	
第8回目	電子カルテと医療機関におけるフロー 演習問題 (④病院・入院)	
第9回目	応用問題 I	
第10回目	応用問題 II	
第11回目	応用問題 III	
第12回目	応用問題 IV	
第13回目	応用問題 V	
第14回目	総括	
第15回目	まとめとテスト	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	理解しにくいところを積極的に質問している。授業に集中して取り組んでいる。
レポート	10%	課題の提出期日を守っている。内容と提出率で評価する。
調査報告書		
小テスト	10%	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。
中間・学期末試験	50%	学期末試験を実施し、授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。
発表内容 (態度含む)		
その他	10%	検定試験の合否により加点する。
教科書と参考図書		
電子カルテシステムの理解と演習		
履修上の心得・ルール		
毎回の演習問題が検定対策になるため、分からないところは必ず質問すること。 電子カルテ検定を受検する場合は必ず履修すること。		